



# やっぱり浦和が一番 市議会議員 (無所属) 川村 準

2023年  
4月号



カンパは郵便振替口座:00170-9-386914 名義:やっぱり浦和が一番  
連絡先〒336-0017 南区南浦和1-27-11-107  
電話番号090-1404-2151 〆:junkawamuraawa@yahoo.co.jp

## 市議選

# 現職2人が落選し、維新は進出

## 県議会では現状維持

4月9日、さいたま市議選と埼玉県議選が行われました。南区の市議選では、4年前と比較すると、候補者数が11人から14人に増加しました。乱戦模様となり、候補者の関心が高まったのか、投票率は4年前の37.37%から39.52%に2ポイント上昇しました。(本文の文中は、人名を敬称略)

南区では、立憲の浜口健司は、前回や前々回に続いてトップ当選でした。ただ、前回より票を落としたのは、国民民主の丹羽宝宏が出たことが影響していると考えられます。その丹羽は、2007年から1期4年、市議を務め、2011年の市議選で落選しました。今回12年ぶりの選挙でしたが、返り咲きは出来ませんでした。

また、維新が、前回は北区で出馬した吉村豪介を擁立し、2位という上位当選を果たしました。維新はこれまでさいたま市議会で議席を持っていませんでしたが、今回南区、浦和区、緑区、北区で4人が当選しました。次に、自民党は南区で従来から

3議席持つっており、現職の桶本大輔、萩原章弘は議席を維持、野口吉明は引退し、後継者に津和野眞佐子を指名し、津和野が初当選を決め、自民3議席の維持を果たしました。

公明党も、現職の松下壮一が引退するも、後継の尾上貴明が議席を獲得、共産党も、現職の金子昭代が議席を維持しました。

その他、参政党は南区と北区で候補者を擁立し、ともに議席の獲得はなりませんでしたが、また、無所属では、私・川村が有難いことに、議席を維持しました。

落選、また、地域政党「さいたま未来プロジェクト」を立ち上げた現職の土井裕之も落選するなど、驚きの選挙結果でした。

ちなみに、埼玉県議選では、南区は自民党の宮崎栄治郎が引退し、後継の林薫が21870票でトップ当選、現職で立憲の木村勇夫が20205票で2位当選しました。維新の中村梨香は16935票を獲得するも落選しました。

さいたま市議会全体では、定数60人のうち、自民党が19人を当選させたものの、これは選挙前の22人から後退した結果になります。立憲も、13人から岩槻区で現職を落とし、12人になりました。公明党は従来の11議席を維持しています。共産党も、従来の7議席を北区で落とし、

6議席に後退しました。減った分は、既述のように維新4議席、また、私と同じ主張の「政務活動費の廃止」の無所属新人が与野(中央区)でも当選するなど、無所属新人の躍進が目立ちました。

いずれにしても、今回の選挙で私は落選を覚悟し、選挙は通らないだろうけど、これまで議員としてしっかりと働いていた自信はある、自分のこれまでの政治活動に悔いはない、と正直悲壮感を抱きながら、選挙を闘ってきました。

しかし、その結果、前回より得票を伸ばすなど、有権者の支持を獲得できたことに、ただただ身の引き締まる思いです。

議員として、全力を尽くしていきますので、市民の皆様のご指導・ご鞭撻のほどお願いいたします。

### 2023年4月のさいたま市議選・結果

当選	浜口健司 (立憲民主・現)	8810(10941)
当選	吉村豪介 (維新・新)	7286(-)
当選	桶本大輔 (自民・現)	6131(7496)
当選	尾上貴明 (公明・新)	5623(6575)
当選	金子昭代 (共産・現)	5325(6319)
当選	萩原章弘 (自民・現)	4614(4787)
当選	川村準 (無所属・現)	4524(4071)
当選	津和野眞佐子 (自民・新)	3562(6351)
当選	佐藤真実 (無所属・新)	3436(-)
	富田かおり (無所属・現)	3254(4525)
	土井裕之 (さいたま未来・現)	3045(3877)
	丹羽宝宏 (国民民主・元)	2162(-)
	西内聡雄 (参政党・新)	1640(-)
	柿沼成明 (無所属・新)	906(-)

※数字の括弧は、4年前の得票数。ただし、尾上と津和野は前任者の得票数。

川村準は、市長から支給される政務活動費(年間408万円)を受け取らずに活動しています。